

令和5(2023)年度事業計画(案)

(一社)千代田エコシステム推進協議会

<EMS 部門クラスⅢ事業>

(1) EMS事業

■ 事業内容

・一般事業所の拡大

千代田区が推進する千代田エコシステム(CES)への参加事業所の拡大を図る。

CESクラスⅢの認証取得事業所については、取組み状況等をCES協議会発行の「CES通信」にて紹介する(令和4年度から一部を実施)。

さらに、事業所の了承が得られれば、CES協議会のホームページに当該事業所のリンクを貼ることを計画している。

その他の事業所に対しては、これらの情報発信を通じて、CESクラスⅢの認知度向上を図り、参加へとつなげる。

・千代田区の監査

監査は対面で実施する。令和5年度から区を一つの単位として認証を受けることへの変更に伴い、地球温暖化対策推進本部事務局は、事業所の代表として毎年監査対象となる。部署の監査は、78部署から毎年20部署を選出し、4年間で全部署が終了する予定となっている。

監査前に監査員を対象に研修を実施し、力量の確保を図る。

(2) 監査実施予定

・一般事業所

現在、CESクラスⅢの認証を取得している7事業所を予定している。

・千代田区

監査員研修を受講した監査員が監査を行う。

(3) CES認証委員会

■ 事業内容

監査終了後に、2回/年CES認証委員会(第三者機関)を開催予定。

認証された事業所に対しては、ロゴマーク入りの認証書を発行する。

監査を通じて、環境活動への工夫や努力が見られ、他の模範となるような取組みを行っている事業所に対しては、CES協議会が表彰する。

<事業者部門>

(4) 環境配慮宣言事業

■ クラスⅢ事業の監査では個人事業者には時間及び費用面で負担が大きいため、参加していない。しかし、独自に環境に配慮する活動の提案と実施を継続している店舗に対し「環境配慮宣言」のステッカーを配付し、店舗に掲示を依頼している。

また、近年コロナ禍で来客の減少や、レジ袋の有料化で苦慮を余儀なくされている個人事業者に役立ててもらおうことを考え、エコバッグの配布を行ってきた。昨年は、従来の紺色から明るい水色に変更し材質は再不織布を使用し資源の再利用を図り、表面には「Eco Friendly」のロゴを入れた。

多くの事業者から「お客様に喜んでいただけた」と追加配布の依頼があったが、逆に「もう少し大きい方が良い」と言った様々な感想もあった。

概ね好評であり今年も同様の企画を計画している。

<普及啓発部門>

(5) 環境学習・教育関連事業（教材発行事業）

■ 内容及び方向性についてはこれまでと大きな変更はなく、小学校高学年が千代田区の環境政策の歴史から現状の課題について学習できる教育プログラムを検討する。

そこでは、環境問題や社会問題を主体的に考え、また、意識改革や行動変容にも繋がる体験型教育プログラムを作成していくために、これまでCESで取り組んできた成果やCESの優れた資源を有効活用する。また、単にテキストを配布するだけではなく、5W1H(When、Where、Who、What、Why、How)の視点で楽しみながら学べるカードゲームを有効的に活用し、知識が身につく教育プログラムも併せて作成することを考えている。

今年度も昨年度に引き続き大学生が中心となり、カードゲームや教育プログラムの内容やデザインを検討し、児童館や学校並びに各種イベントで子どもたちを対象に出前授業を行い、反応を確かめることを考えている。

(6) 再開発ビル等の自然エネルギー利用施設見学会・シンポジウム・講演会開催

■ 事業内容

- ・自然・再生エネルギー利用技術の見学
 - 地中熱利用・地熱発電・太陽光発電・水力発電・風力発電・食品残渣のバイオ発電等
 - ZEBの見学
 - 案1.
- ・環境講演会の開催案
 - 案1. 令和4年度に実施した木造建築による中高層建築物の推進については、シリーズ化も視野に入れており、林野庁及び経済産業省に補助金の種類や申請についての説明を講師として招き依頼することを考えている。

(7) エコフェアの開催

■ 事業内容

環境活動をする企業・団体・個人・大学・学校の活動を区民に周知し、お互いに情報交換やコミュニケーションをとる場をつくることを目的にイベントの開催を行う。今年度は更に参加ブースを増やす方向で考えており、区役所1Fの区民ホールを借切り、発表のためのイベントを開催予定。

(8) CES 環境活動普及助成制度事業

■ 募集要項の改正について

「千代田区キャンパスコンソ」でもこの事業を説明したが、今まで申請数が少ない原因として、募集期間が短いなどの要因を改善して、一層の周知活動が必要である。区のホームページにも掲載することを計画している。

(9) PR活動

■ 事業内容

CESが発信する環境問題に対する取組みや情報を、どの様に区民及び区内事業者に伝えたら効果的か検討することが急務である。一つの方法として昨年同様、環境配慮宣言事業で作成のCESの名前及びキャッチフレーズ入りの「エコバッグ」を古本まつりで書籍購入の方に配布し使用してもらう予定。

(10) 情報誌の発行

■ 内容

会報「CES 通信 vol. 11~12」の発行
CES活動並びに千代田区のCO₂削減に関心を寄せてもらうことを目的とする。
会員・事業関係者・事業所・出張所を対象に、活動報告・イベント案内・会員からの投稿をメインに作成し、年間2回発行する。

《全体事業》

(11) 区との協働事業

■ 事業内容

ちよだ環境まつり・・・6/17(土) 参加
CESエコフェア2023・・・11月もしくは12月に開催予定

以上